



けんせつサポート

こんにちは、皆さん
ビートです



けんサポ Center News 第56号 2025年9月

Contents

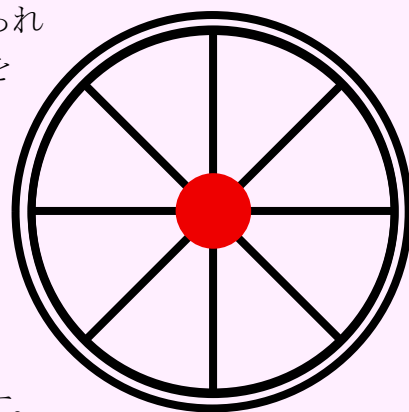
- センターの仕事① 総務部 (P1) ○お知らせ
○センターの仕事② 企画部 (P2) ・10月～12月研修・講習会のご案内 (P4)
○センターの仕事③ ふるさと地理情報 センター (P3) ・「岐阜県自然共生工法研究会」
ボランティア清掃活動報告 (P4)

○センターの仕事① ～総務部～

(窓口) 総務部
0584-81-1331

総務部のイメージはよく「縁の下の力持ち」という表現が用いられますが、当センターの総務部は、さらにセンターの中心的な業務を担っていることから、車輪の「ハブ」とであるともいえます。

センター内の各部署が円滑に業務を進められるよう、人事、経理、契約などのほか職員の福利厚生、職場環境整備、備品・消耗品の手配など、横断的にサポートします。これは、まるでハブ空港が各地への便を取り持つように、総務部が各部署の業務をつなぎ、スムーズな連携を促しています。これらの業務によりセンターの活動を円滑にするための中心的な役割を果たしています。主な業務を紹介します。



1 人事管理

組織における最も重要な資産は「人」です。総務部では、次の業務を行うことにより、働きがいのある職場環境を創り出し、「人」の持つ可能性を最大限に引き出すことでセンターの成長を加速させる役割を担っています。

- 職員採用：優秀な人材を採用しセンターの能力を底上げします。
- 人事評価：職員一人一人の努力と成果を正當に評価し、本人の士気を高め成長を促します。
- 労務管理：職員が安心して働ける環境を整備し、最高の成果を発揮できるよう支援します。

- ・健康診断の実施やストレスチェックによる健康管理
- ・労働災害の防止啓発や職場環境の改善による安全衛生管理
- ・ハラスメントの予防や対策、相談窓口の設置

2 経理管理

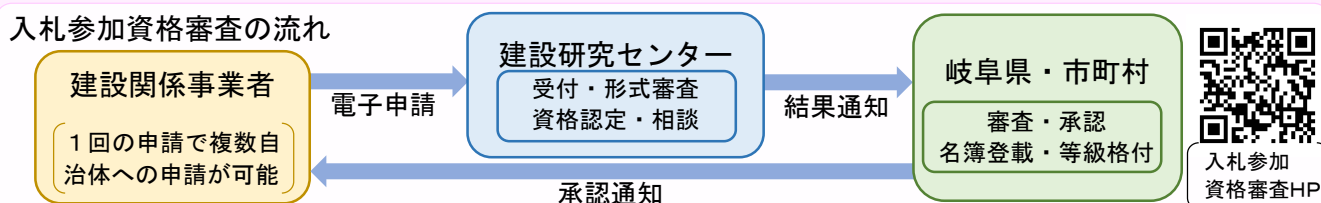
総務部では、各部署の日々の支出・収入処理を行い、これに基づく月次・年次決算業務を行います。これらを適正に行い財政状況を正確に把握、管理することにより、公益財団法人としての財務状況の透明性を確保し、経営判断の基礎となる情報を提供しています。

センターの健全な運営と社会的な信頼を維持するために非常に重要な役割を担っています。

上記のようなセンター運営に関する業務のほかに、総務部では岐阜県や県内市町村の業務の効率化・コスト削減を図るため、「入札参加資格審査業務」を行っています。

当センターが建設関係事業者様からの申請受付及び審査等を行うことにより、県・市町村・事業者の皆様の負担軽減につなげます。(窓口：入札参加資格審査係 0584-81-1370)

入札参加資格審査の流れ



企画部では、県、市町村、関係企業の皆様のお役に立てるよう次の支援事業を行っています。

1 「なんでも相談室」の設置

皆さんが普段の業務でお困りになっている、どのような些細なことでもご相談に応じる窓口を設置しています。土木のこと、建築のこと、積算のこと、発注・入札・契約のこと、検査のこと、災害復旧のことなどなど。建設研究センター内の各部署と連携して、よりよい解決方法をアドバイスします。

お電話でもメールでもお気軽にお尋ねください。



なんでも
相談室HP



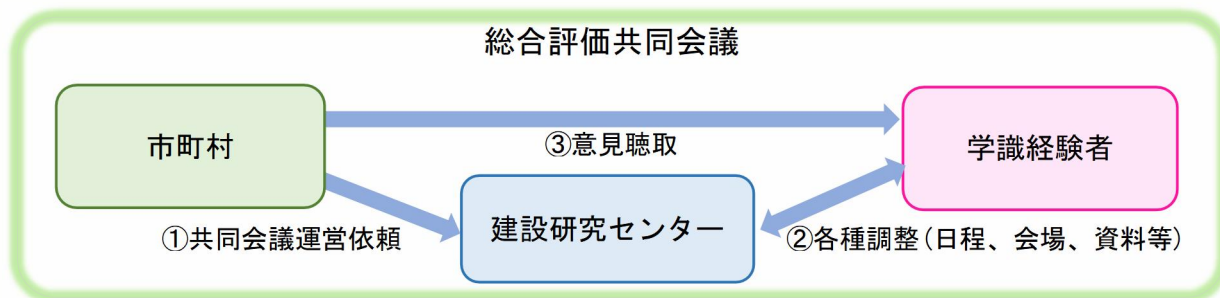
2 「総合評価共同会議」の運営

工事の発注にあたっては、その「品質を確保する」という観点から、価格だけでなく、企業や技術者の能力や実績、環境への配慮、地域への貢献度など様々な要素を総合的に評価する「総合評価落札方式」の導入が必要とされています。

当センターでは、「総合評価共同会議」を設置し、市町村の皆さんが総合評価落札方式により入札する際に必要な学識経験者からの意見聴取の窓口となり、円滑に業務を進められるよう支援します。



総合評価
支援HP



3 調査研究（自主研究）事業の実施

社会のニーズやトレンドに合わせ、インフラ整備に関する様々な課題に対し、これからの建設事業の発展や土木施設の効率的な維持管理、施策の高度化や省力化につながる調査研究を行っています。

例えば、インフラメンテナンス業務の共同（合同）発注の手法や、生成AIを土木施設管理の効率化に活用できないかなど、最新技術の情報も収集し進めています。

企画部では、上記業務のほか次の団体の事務局運営を担っています。

①「岐阜県自然共生工法研究会」

水と緑があふれる県土を引き継いでいくために、産学民官が連携し自然豊かな環境の創出・復元を図る取組を実践します。（会員募集中！）

<主な活動>

- ・勉強会：有識者による研修や、施工現場を見学するなどし、自然共生や多自然川づくりの理解を深めます。
- ・事例発表会：自然共生に関する取組成果等を発表するとともに自然共生の重要性を啓発します。

②「岐阜県社会基盤研究所」

新たな技術開発や建設行政に関わる課題を解決するために、産学官が連携するなどし、建設業界全般の技術力向上・活性化を目指しています。

<主な活動>

- ・研究発表会：研究員の研究の発表や外部の研究、新技術の習得を行います。

ふるさと地理情報センターでは「県域統合型G I S ぎふ」を運営しています。

これは、岐阜県および県内市町村が整備した地図データを一元的（県域統合）に整備・管理した地理情報システム（G I S）を共同利用することで、コスト削減と地図利用の効率化を図るものです。

◆「県域統合型G I S ぎふ」について知ろう◆

各自治体で道路、上下水道、公園、避難場所など部署毎（事業毎）に地図を整備・管理しては手間と費用がかかります。同じ地域の地図を整備するなら、ベースとなる地図（背景地図データ）は共有して使いましょうというのが統合型G I Sです。



これを県域レベルで整備したものを「県域統合型G I S」といい、県・市町村がそれぞれ整備した空間データを持ち寄り、共有できる空間データを整備することにより、地図整備費用の低減や重複投資の解消、情報共有による業務の効率化などにつながります。

○市町村職員の方にとっては・・

- ・庁内他部署の最新データをリアルタイムで参照が可能になります。
- ・地図利用が効率化されます。
- ・システム開発や保守及びサーバー維持管理が不要となりコスト削減につながります。

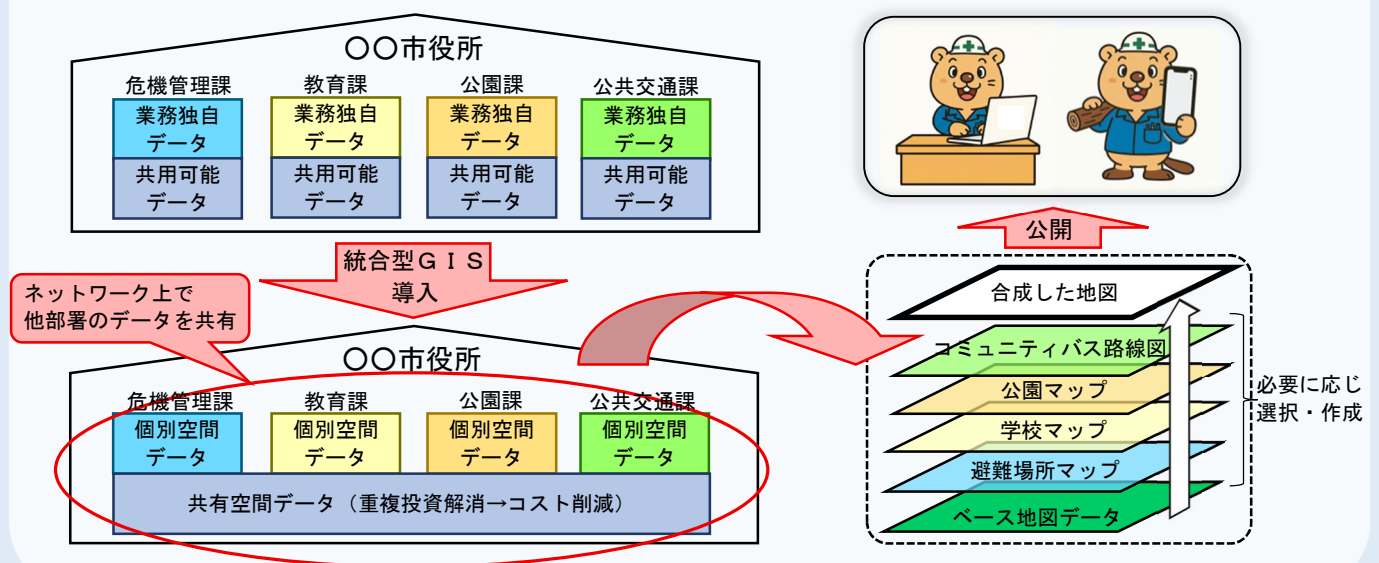
○県民の皆さんにとっては・・

- ・「避難場所はどこ？」や「近くの公共施設は？」などについて、インターネットで確認することができます。
- ・夜間、休日でも窓口へ問い合わせることなく情報を得ることができます。
- ・クマの出没情報など、市町村をまたいだ情報を得ることができます。



県域統合型
GISサイト

統合型G I Sのイメージ



ふるさと地理情報センターでは、「県域統合型G I S ぎふ」の運營業務のほかにJ A X A（宇宙航空研究開発機構）と協定を締結し、豪雨災害発生時などに衛星による撮影を要請し、被災場所の特定や被災状況の確認など衛星画像を防災に役立てています。

○お知らせ 10月～12月研修・講習会のご案内

(窓口) 建設 ICT 人材育成センター
0584-71-7001



県・市町村等職員研修

研修案内は、別途メールにて各自治体の研修担当者様宛に送信します。

開催日	研修名	内容	場所	定員
10月1日	ドローン操作（基礎）	ドローンに関する法令の講義及び操作実習	わかくさ・プラザ（関市）	24
10月3日	問題解決力向上	問題点の発見・解決に関する講義・演習	建設 ICT 人材育成センター	30
10月17日	現場見学会（都市計画事業）	都市計画事業の先進事例の見学	岐阜市歴史博物館	24
10月22日	ドローン操作（活用）	ドローンに関する法令の講義及び操作実習	ドローンミュージアム&パークみの（美濃市）	24
10月22日	水中ドローン操作	水中ドローンに関する操作実習	ドローンミュージアム&パークみの（美濃市）	24
11月	橋梁点検	橋梁点検の講義及び現地実習	建設 ICT 人材育成センター	24
12月	街づくり講演会	－	ぎふメディアコスモス（岐阜市）	80

建設業担い手育成研修

研修概要は、「建設 ICT 人材育成センター」のホームページ（上記QRコード）をご確認ください。

開催日	研修名	内容	場所	定員
10月2日	経営力向上セミナー	女性技術者の活躍（女性技術者向け）	ハートフルスクエアG（岐阜市）	40
10月9日	経営力向上セミナー	女性技術者の活躍（経営者向け）	建設 ICT 人材育成センター	40
10月29日	経営力向上セミナー	外国人材の雇用と育成	建設 ICT 人材育成センター	30
10月29日	経営力向上セミナー	外国人材の雇用と育成	ライブ配信	40

一般の方向け魅力発信ツアー

事業の内容や申込等は、「建設 ICT 人材育成センター」のホームページ（上記QRコード）をご覧ください。

開催日	事業名	場所	定員
11月8日	小・中学生の親子土木見学ツアー	濃飛横断自動車道、リニア岐阜県駅（仮称）	40

○お知らせ 「岐阜県自然共生工法研究会」活動報告

(窓口) 企画部
0584-81-1332

令和7年7月19日（土）、岐阜市内の長良川左岸河川敷にて、研究会員の皆様によるボランティア清掃活動を、研究会が掲げる「自然豊かな環境の創出」の一環として行いました。

当日は、天候にも恵まれ早朝から111名の方にお集まりいただき、約1時間の清掃活動で6袋分のごみを回収することができました。感謝申し上げます。

このような活動が生物多様性の維持・向上、さらには地球温暖化対策につながっていけばと願っています。

◆清掃活動の様子◆



編集・発行 公益財団法人 岐阜県建設研究センター担当 : 企画部 小池・松井
TEL 0584-81-1332 FAX 0584-81-1352 <https://www.gifu.crcr.or.jp>

